

2026年7月3日
イオン株式会社



～「イオン ふるさとの森づくり」35周年～ 「イオンモール熊本」で、新しいふるさとの森づくりを開始 既存店舗の敷地を活用し、多様ないきものが共生する森へ

イオンは既存店舗の敷地を活用した、新しいふるさとの森づくりを2026年7月4日より、「イオンモール熊本」で開始します。



※画像はイメージです。

イオンは1991年から、新店舗の開店にあわせて地域の皆さまとともに、その土地由来の樹木を植える「イオン ふるさとの森づくり」に取り組んでいます。累計植樹本数は約1,287万本^{※1}、参加者数は延べ約130万人に達しました。35周年を迎える今年、本活動をネイチャーポジティブの実現に向けた転換点と位置づけ、自然の損失を止め、回復させる取り組みを加速しています。

その具体的な取り組みの一つとして、既存店舗の敷地を活用した、新しいふるさとの森づくりを進めます。今後は、対象店舗の業態や規模を踏まえた取り組みの拡大を検討するとともに、イオンの環境活動の象徴である「イオン ふるさとの森づくり」を継続・進化させ、地域の自然再生につながる新たな活動へと発展させていくことを目指します。

イオンモール熊本で開始する 新しいふるさとの森づくりの特徴

■人と自然がふれあえる空間づくり

樹木の配置や小道を工夫し、人が立ち入りしやすい空間を整備します。地域の人々が自然とのつながりを体感できる場を目指します。

■地域の自然を再現する植栽計画

熊本平野と周辺に残る里地の草地や里山雑木林をイメージし、限られた空間に、地域の自然環境に適した樹木や地被植物を植栽します。成木・大苗・幼苗・地被を組み合わせ、階層構造を持つ豊かな森へ育てます。

■生態系を育む循環型の取り組み

堆肥コンポストを設置し、有機物循環と土づくりを進めます。芝地や在来植物による草地を設け、雨水浸透と草地再生も図ります。多様ないきものが共生し、生態系として機能する空間づくりが特徴です。

記

- 実施場所 : イオンモール熊本（熊本県上益城郡嘉島町大字上島字長池2232）
実施内容 : 既存店舗の限られたスペースを活用した自然再生
創出する森 : 熊本平野とその周辺部に残された里地の草地と里山雑木林をイメージした森
主な特徴 : ①人が立ち入りやすい樹木配置と小道の設置
②成木、大苗、幼苗、地被を組み合わせ、5年程度で階層構造を有する森へ育成
③堆肥コンポストによる有機物循環と土づくり
④芝地や在来植物による草地を設け、雨水浸透と草地再生を促進
植樹日程 : ①地域のお子さま^{※2}、イオン関係者
2026年7月4日（土） 9時00分～
約80人による約300本の植樹
②グローバルネイチャーポジティブサミット参加者による植樹
2026年7月16日（木）9時20分～
約40人による約240本の植樹

イオンは今後も、「イオン ふるさとの森」を地域の皆さまとともに見守り、育て、活かすことで、自然と共生する社会の実現に貢献してまいります。

※1：2026年2月末確定値

※2：イオンゆめみらい保育園熊本・イオンチアーズクラブのお子さま

以上

<ご参考>

▼「グローバルネイチャーポジティブサミット2026（GNPS2026）」への参画
イオンは2026年7月14日～16日に熊本市で開催される「GNPS2026」に参画し、取り組みの成果と今後の方向性を発信します。あわせてイオンモール熊本で進める、新しいふるさとの森づくりについても、新たな自然再生の取り組みとして紹介する予定です。

▼「イオン ふるさとの森 いきもの調査2026」の開始
2026年6月1日から順次、「イオン ふるさとの森 いきもの調査2026」を開始しています。これまで育ててきた「イオンの森」の生物多様性価値を可視化し、今後の森づくりや育樹、店舗緑地管理に活用します。

▼ニュースリリース「イオン ふるさとの森づくり」35周年

https://www.aeon.info/wp-content/uploads/news/pdf/2026/03/260306R_1_2.pdf



▼30秒動画「いーえす爺がゆく！イオンの森づくり」

<https://www.aeon.info/company/message/sustainability/>

